

式 辞

中京大学で学び、本日、ご卒業を迎えられた 60 名の皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。誠におめでとうございます。ご卒業される皆さんを温かく励まし、支えてこられたご家族やご親族の方々にもお慶びを申し上げます。

皆さんが中京大学に入学された 2021 年、キャンパスはコロナ禍にありました。他の大学に先駆けるかたちで面接授業、すなわち通学による対面授業を再開させることはできましたが、感染防止対策の継続が求められ、通常の年とまったく異なる雰囲気の中で学生生活がスタートしたことは、みなさんもよく記憶されていることと思います。それから 2 年が経過した 2023 年 5 月、社会はようやく平時に戻りましたが、それまでの間、友人と一緒に食事をしたり、仲間でスポーツを楽しんだりといった、ごく当たり前の日常が奪われることになってしまったことは、若い皆さんにとって、非常に辛いことだったろうと思います。

そうした未曾有の環境のもとで、皆さんは学業に、そして部活動に、本当によく頑張り、しっかりと中京大生の本分を尽くしてくれました。気持ちを途切れさせることなく、それぞれの目標に向かって地道に努力を積み重ね、こうして晴れの卒業を迎えることができたことに、皆さんは大いに自信と誇りを持ってほしいと思います。

中京大学は昨年、2024 年に開学 70 周年を迎えました。学部卒業生と大学院修了生は、延べ人数で 15 万人を超えています。さまざまな分野で活躍する先輩たちとの出会いや交流を楽しみにしながら、社会への第一歩を踏み出していってください。

国際社会に目を移せば、ウクライナや中東では今も激しい戦闘や混乱が続いており、情勢の打開に向けためどは立たないままです。アメリカのトランプ大統領が「アメリカン・ファースト」と称して自国の利益優先を明確にする一方で、中国・ロシア・北朝鮮の 3 カ国が欧米への対抗軸として結束をアピールするといった動きも出てきており、従来 of 国際秩序は大きく揺らいでいるといえるでしょう。

経済的な面からみても、トランプ大統領の掲げる保護主義的な相互関税のもたらす影響は、決して小さなものではありません。日米間の交渉はひとまず決着をみましたが、自動車をはじめとする製造業はもちろん、農産品やエネルギー関連など幅広い分野に影響が及んでくることが予想され、今後の成り行きは予断を許しません。安全保障にせよ経済にせよ、力を持つ者が、その力でもって相手をねじ伏せようとする傾向が顕著になってきているのは、分断を加速することにつながり、決して好ましいこととはいえません。

一方、国内では 7 月の参院選での大敗を受けて石破首相が退陣を表明し、自民党総裁選が前倒しとなりました。結果によっては政権の枠組みにも変化が生じ

るとみられています。たとえば政権がどういう形になろうとも、一番重要なのは、永田町や霞が関の内向きの論理で動くのではなく、国民の求める政治課題の解消に、真正面から真摯に向き合ってもらいたいと思います。物価高、経済再生、人口の減少、格差の是正といった喫緊の課題に、迅速に、かつ精力的に取り組んでいっていただかねばなりません。

課題といえば、もう一つ、忘れてならないのは温暖化問題です。この夏は、最高 35 度を超す猛暑日が幾日も続き、かつてはあり得なかった 40 度を超す酷暑日も、名古屋を含め全国各地で観測されました。今年だけの異常気象ではなく、もはやこれが普通になったのだろう、というのが多くの人の実感ではないでしょうか。長い目で見た場合の温暖化対策はもちろんですが、目の前の「暑さ」にどう対応していくか。私たち自身の生活スタイルを見直す工夫も、これまで以上に必要になってくるでしょう。

さまざまな課題が山積する世界と日本ですが、皆さんにはぜひ、こうした問題を我が事ととらえ、積極的にかかわってほしいと願っています。もちろん、簡単に答えの出る問題などありません。しかし、だからといって多くの人が「われ関せず」と、人任せにして思考を停止させていたのでは、社会は何も変わりません。できる限り自分自身で考え、決断して動くことを心掛けていってください。中京大学で学んだ皆さんには、既にその力は十分に備わっています。ひとりひとりが、主体的に社会と関わりを持つという意識を携えて日々を歩んでいってこそ、社会の中で新たな価値観が生まれ、皆さんが主役となって輝く時代が近づいてくるのだと考えます。

最後になりましたが、中京大学は、教育、研究に加え、社会連携・社会貢献についても一層の強化を図り、地域にとって不可欠な大学として永続的に発展していけるよう、さらなる改革を進めてまいります。学園の礎である校訓「真剣味」、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を今後もしっかりと継承しつつ、卒業生の皆さんにとって、より誇り得る母校として飛躍させていく覚悟です。

これから先も、中京大学で過ごした日々を忘れることなく、新たな学びと挑戦を続けていってください。ときに辛いこともあり、逃げ出したくなるようなこともあるでしょう。そんな時こそ大学時代を思い出し、自分を信じて一歩ずつ、足元を踏みしめながら前に進んでいってください。

勇気を持って向かっていけば、道は必ず拓けます。さらにたくましく成長された皆さんと、またお会いできる日を楽しみにしています。

本日はご卒業、誠におめでとうございます。

2025 年 9 月 19 日

中京大学長
梅村 清英